

地域医療機関から仙台市立病院に寄せられた意見について

1 趣旨

当院では、地域医療支援病院として地域医療機関との連携強化を図るため、地域医療機関アンケート及び訪問活動による意見収集を継続している。

アンケート及び訪問活動では、紹介患者受入、緊急患者受入のほか、受入判断の迅速性、相談体制、返書対応等に関する意見が寄せられている。

本委員会では、これらの意見を共有し、地域医療機関や地域住民から選ばれる病院となるために必要な事項について検討する。

2 地域医療機関からいただいた主な意見

(1) アンケート調査結果

①調査概要

実施期間	令和 8 年 4 月 22 日～5 月 8 日
配布数	1,045 件
回答数	224 件
回答率	21.4%

②主な要望項目（要望の多い順）

- 1) 紹介患者受入
- 2) 緊急患者受入
- 3) 逆紹介
- 4) 情報提供
- 5) 講演会等の開催

自由記載では、受入判断に時間を要すること、緊急時の相談先が分かりにくいこと、受入困難時の理由が分かりにくいことなどに関する意見が寄せられた。

一方で、救急患者を積極的に受け入れる病院へ優先的に紹介するとの意見もあり、病院選択においては診療機能だけでなく、受入実績や信頼関係も重要な要素であることがうかがえた。

(2) 訪問活動結果

院長・診療科部長等による医療機関訪問では、アンケートでは把握しきれない具体的な意見を伺った。

地域医療機関からは、

- ・受入可否そのものよりも回答の速さが重要
- ・急患時の相談先が分かりにくい
- ・土曜日の受入体制を充実してほしい

- ・紹介後に別診療科での対応が必要となる場合、院内で円滑に情報を共有し診療が継続されることを期待する
- ・返書対応は紹介元医療機関との信頼関係に直結する
- ・地域医療機関で対応困難な患者への対応を期待する

などの意見が寄せられた。一方で、

- ・土曜日のイレウス患者受入への評価
- ・「2 時間後であれば対応可能」といった具体的な回答に対する評価
- ・他院で受入困難であった患者への対応に対する感謝

などもあり、迅速な判断や相談しやすい体制も病院選択の要因になると思われる。

3 当院の主な取組

当院では、地域医療機関との連携強化を目的として、次の取組を実施している。

※【 】内は令和 7 年度実績

- (1) Doctor to Doctor (DtoD) による医師間直接相談体制の運用 【1,854 件】
- (2) 紹介予約コールセンターの運用（患者自身による予約取得が可能） 【8,620 件】
- (3) 仙台市救急医療病院間連携推進事業への参画 【154 件】
- (4) 仙台南地域医療連携を考える会の開催（地域医療の課題共有及び医療機関相互の連携強化） 【2 回開催（参加人数：1 回目 64 人、2 回目 65 人）】
- (5) オープンカンファレンスの開催（症例検討や情報共有を通じた顔の見える関係づくり） 【2 回開催（参加人数：1 回目 91 人、2 回目 97 人）】
- (6) 院長及び診療科部長等による医療機関訪問 【100 件】
- (7) 地域医療機関アンケートの実施
- (8) 開業医等からの意見聴取

これらの取組を通じ、紹介患者受入体制及び地域医療連携体制の充実に努めている。

4 当院の課題

アンケート及び訪問活動を通じて、次の課題が確認された。

- (1) 受入判断及び相談体制

地域医療機関が相談しやすく、迅速に受入判断ができる体制

<今後の方向性>

DtoD の相談体制を継続するとともに、地域医療機関からの相談に対し円滑な対応が可能となる体制・方法について検討する。

- (2) 地域医療機関で対応困難な患者への受入れ

地域ニーズを踏まえ、当院が受入れを強化すべき患者層

＜今後の方向性＞

地域医療機関から寄せられた意見等を踏まえ、ニーズに対応した受入体制について検討する。

(3) 診療科間連携の強化

院内での診療科間連携を充実させ、紹介患者を円滑に診療へつなげる体制

＜今後の方向性＞

紹介患者を円滑な診療につなげるため、院内連携の在り方について共有を図る。

(4) 返書対応

地域医療機関との情報共有及び病院機能評価への対応を踏まえた返書運用の在り方

＜今後の方向性＞

地域医療機関との情報共有の充実に向け、返書に係る運用ルールの見直しについて検討する。

(5) 地域医療機関との信頼関係の構築

継続的な訪問活動や情報共有を通じた、地域医療機関との信頼関係の強化

＜今後の方向性＞

院長や診療科部長等による医療機関訪問を継続し、地域ニーズの把握及び相互理解の促進を図る。